

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	放射線撮影学2 (Radiation Imaging)		
ナンバリングコード	S20213	大分類 / 難易度 科目分野	保健医療学科 / 標準レベル / 診療放射線学
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 前期
必修・選択区分	コース必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	S003401	クラス名	-
担当教員名	北村 茂三、衛藤 路弘		
履修上の注意、 履修条件	基本的にスライドを用いた講義形式で行う。講義中に課題を提示し、各授業毎に確認テストを行う。 教科書を基本とし、参考資料はGoogle Classroomにて提供する。 診療放射線学コースの学生は必ず履修すること。		
教科書	基礎からわかる！実践できる！造影検査学(神島保他、メジカルビュー社、2022) 若葉マークの画像解剖学(改訂第3版)(磯部智範編、メジカルビュー社、2019)		
参考文献及び指定図書			
関連科目	放射線撮影学、診療画像機器学		

○基本情報	
授業の目的	1.造影剤の概要、副作用、禁忌疾患について説明できる。 2.各種造影検査における一連の流れと他職種との連携における診療放射線技師の役割について説明できる。 3.消化器系造影検査部位の解剖、検査法、造影手技について説明でき、X線画像解剖の理解と画像の異常箇所および主要疾患が判読できる。 4.循環器系造影検査部位の解剖、検査法、造影手技について説明でき、X線画像解剖の理解と画像の異常箇所および主要疾患が判読できる。 5.IVRの対象疾患、手技、治療概要を説明できる。 6.CT検査に用いる機器の概要および検査時の撮影方法について説明できる。
授業の概要	(概要)放射線撮影学のなかで、消化管や血管に対する造影検査およびX線コンピュータ断層撮影に必要な機器の条件設定やポジショニング等の知識と技術について学ぶとともに、撮影時に必要な患者接遇や緊急時の対応に関する知識と能力を身に付ける。また、循環器・脈管系、脊髄・関節腔などのX線造影検査について検査目的、造影部位の解剖、造影検査法、検査手技、X線画像解剖、主要疾患画像読影技術について理解を深める。 (オムニバス方式／全15回) (北村茂三／5回) 造影検査(概要、食道、胃、十二指腸、肝・胆・膵) (衛藤路弘／10回) 血管造影(概要 頭頸部 胸部 四肢) X線CT(頭頸部 胸部 腹部 脊椎・脊髄)
授業の運営方法	(1)授業の形式 「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式 「オムニバス方式」
	(3)アクティブ・ラーニング 「該当なし」
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	北村茂三:診療放射線技師(病院での実務経験27.5年)が、その実務経験を活かして、消化管の造影検査とIVRを中心に、臨床現場で診療放射線技師が携わる業務に役立ち、かつ国家試験対策にもつながる教育を行う。

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー1】				
【ディプロマ・ポリシー2】	幅広い教養と倫理観を基盤として、診療放射線学、臨床検査学、臨床医工学のいずれかの専門分野に関する医療技術の知識と技能を修得できている。	80点	20点	
【ディプロマ・ポリシー3】				
【ディプロマ・ポリシー4】				
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法) 授業毎にGoogle ClassRoomで小テストを行います。このテストは成績には反映しませんが、授業の重要ポイントの復習となります。 小テストの解説を授業後に行い、フィードバックをします。これらは期末試験の範囲にも含まれますので、必ず取り組んで下さい。				

○その他
放射線業務を行う上で、最も基礎的内容となるので、よく予習・復習行い授業に臨むこと。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名	放射線撮影学2 (Radiation Imaging)	授業コード	S003401
		担当教員	北村 茂三、衛藤 路弘		
学修内容					
1. 造影検査 概要					
造影剤の概要、種類と検査用途について学修する。ヨード系造影剤と硫酸バリウム製剤の薬理作用、副作用およびヨード系造影剤注入後の抜針と止血について学修する。					
予習		講義内容の予習			約2時間
復習		講義内容のまとめと知識の整理			約2時間
2. 造影検査 食道					
食道のX線学的解剖と撮影法および正常X線画像解剖、主要疾患とその描出法、食道癌取扱規約について学修する。また、胃のX線学的解剖と撮影法、正常X線画像解剖と胃の区域分類と描出部位について理解する。					
予習		講義内容の予習			約2時間
復習		講義内容のまとめと知識の整理			約2時間
3. 造影検査 胃					
胃のがん検診撮影法と読影の補助、および胃病変と胃癌取扱い規約について学修する。胃の主要疾患とその描出法、について理解する。					
予習		講義内容の予習			約2時間
復習		講義内容のまとめと知識の整理			約2時間
4. 造影検査 十二指腸					
十二指腸・小腸のX線学的解剖と撮影法、正常X線画像解剖と異常X線画像における病変の描出画像について学修する。また大腸の人体およびX線学的解剖、前処置、使用器具、使用薬剤、カテーテル挿入法と安全・汚染対策について学修し、注腸造影検査手技・撮影法、X線画像解剖について理解する。					
予習		講義内容の予習			約2時間
復習		講義内容のまとめと知識の整理			約2時間
5. 造影検査 肝・胆・膵					
肝・胆・膵の人体・X線学的解剖、検査方法、また検査時の前処置、使用薬剤、主要疾患について学修する。さらに肝・胆・膵のX線画像解剖と正常画像および異常画像の読影法およびIVR について理解する。					
予習		講義内容の予習			約2時間
復習		講義内容のまとめと知識の整理			約2時間
6. 血管造影 概要					
血管造影検査の撮影装置と周辺機器・使用備品と患者への安全対策を中心に学修する。血管造影の概要、頭頸部血管のX線学的解剖、血管造影検査法、検査手技について理解する。					
予習		講義内容の予習			約2時間
復習		講義内容のまとめと知識の整理			約2時間
7. 血管造影 頭頸部					
頭頸部血管のX線学的解剖、血管造影検査法、検査手技について学修する。また、頭頸部血管の画像解剖と主要疾患画像およびIVR について理解する。					
予習		講義内容の予習			約2時間
復習		講義内容のまとめと知識の整理			約2時間
8. 血管造影 腹部					
腹部血管のX線学的解剖、血管造影検査法、検査手技について学修する。腹部血管の画像解剖と主要疾患画像とIVR について理解する。					
予習		講義内容の予習			約2時間
復習		講義内容のまとめと知識の整理			約2時間

○授業計画	科 目 名	放射線撮影学2 (Radiation Imaging)	授業コード	S003401
	担当教員	北村 茂三、衛藤 路弘		
学修内容				
9. 血管造影 四肢				
四肢血管の造影検査法、検査手技、X線学的解剖について学修する。また、四肢血管のX線画像解剖と主要疾患画像およびIVRIについて理解する。				
予習	講義内容の予習			約2時間
復習	講義内容のまとめと知識の整理			約2時間
10. 血管造影 その他(脊髄腔、関節腔、リンパ管、唾液腺、乳線)				
脊髄腔、関節腔、リンパ管、唾液腺、乳線の造影検査法、検査手技および、それらのX線画像解剖、主要疾患画像について理解する。				
予習	講義内容の予習			約2時間
復習	講義内容のまとめと知識の整理			約2時間
11. X線CT 概要				
X線CT装置の概要と種類、および検査時の接遇、撮影技術について理解する。				
予習	講義内容の予習			約2時間
復習	講義内容のまとめと知識の整理			約2時間
12. X線CT 頭頸部				
頭頸部領域におけるX線CT検査の撮影方法と画像表示方法について理解する。また、アーチファクトの除去法や3D画像処理の活用について学修する。				
予習	講義内容の予習			約2時間
復習	講義内容のまとめと知識の整理			約2時間
13. X線CT 胸部				
胸部領域におけるX線CT検査の撮影方法と画像表示方法について理解する。また、アーチファクトの除去法や3D画像処理の活用について学修する。				
予習	講義内容の予習			約2時間
復習	講義内容のまとめと知識の整理			約2時間
14. X線CT 腹部				
腹部領域におけるX線CT検査の撮影方法と画像表示方法について理解する。また、アーチファクトの除去法や3D画像処理の活用について学修する。				
予習	講義内容の予習			約2時間
復習	講義内容のまとめと知識の整理			約2時間
15. X線CT 脊椎・脊髄				
脊椎・脊髄領域におけるX線CT検査の撮影方法と画像表示方法について理解する。また、アーチファクトの除去法や3D画像処理の活用について学修する。				
予習	講義内容の予習			約2時間
復習	講義内容のまとめと知識の整理			約2時間
16. 期末試験				
予習				
復習				